

個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	瀬戸南高等学校		所在地	岡山市東区瀬戸町沖88		
敷地面積	91,981.00 m ²		棟数	65 棟 (計画記載対象 18 棟)		
延床面積	14,654.02 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため					
【想定される自然災害】						
予想震度 <u>6弱</u> <u>津波</u> ー <u>浸水 0.5m～1.0m未満</u>						
建築規制	市街化区域、第二種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%					
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 366,455 kWh	ガス 1,440 m ³	水道 9,277 m ³	燃料 (灯油・A重油)	灯油:7,196 A重油:660	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 2,753.00m ² 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所(土砂災害、洪水、津波)協定による避難場所					

1 施設内建物の概況

名称	産振実験室棟(102棟)51-1	産振実験実習棟(109棟)51-2	特別教室棟(114棟)60-1
築年(西暦)	1976年	1980年	1984年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	197.33 m ²	213.06 m ²	265.86 m ²
延床面積	594.09 m ²	642.58 m ²	1,063.45 m ²
主要な用途 (室名等)	農機具整備実験室 作物・畜産実験室 土肥料・飼料実験室	果樹収納調整室 農業管理実習室 園芸実験室	食物室 福祉室 被服室
主要な設備 (屋外を含む)	給排水設備	給排水設備	消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(116棟)60-2	産振棟(124棟)65	実習室棟(127棟)68
築年(西暦)	1985年	1990年	1994年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 2階	鉄骨造 1階
建築面積	418.56 m ²	400.40 m ²	360.00 m ²
延床面積	1,521.61 m ²	800.80 m ²	360.00 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室 保育教室 書道教室	野菜収納調整室 農業経営実習室 生物学実験室	作物収納調整実習室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	給排水設備	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	牛舎棟(128棟)69	同窓会館(134棟)77	食品加工実習室棟(136棟)72
築年(西暦)	1995年	1995年	1996年
構造	木造1階	鉄骨造2階	鉄骨造1階
建築面積	350.00 m ²	126.00 m ²	300.00 m ²
延床面積	350.00 m ²	252.00 m ²	300.00 m ²
主要な用途 (室名等)	牛舎	多目的ホール 研修室	農産加工室 肉処理室
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	果樹温室棟(140棟)76	鶏舎(146棟)82	理科教室棟(74棟)38-1
築年(西暦)	2002年	2009年	1965年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	274.98 m ²	400.04 m ²	191.29 m ²
延床面積	274.98 m ²	400.04 m ²	573.87 m ²
主要な用途 (室名等)	温室	鶏舎	化学教室 生物教室 情報処理室
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適
	中性化 ※3		適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	農機具実習室棟(82棟)39	格技場(84棟)45	教室棟(86棟)38-2
築年(西暦)	1968年	1969年	1969年
構造	鉄骨造 1階	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	230.23 m ²	200.17 m ²	317.41 m ²
延床面積	230.23 m ²	200.17 m ²	952.22 m ²
主要な用途 (室名等)	農具室	武道場	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 給排水設備 消火設備	-	消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	本館棟(87棟)41-1	管理棟(90棟)41-2	体育館(99棟)49
築年(西暦)	1969 年	1970 年	1974 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄骨 造 1 階
建築面積	167.33 m ²	290.52 m ²	1,160.00 m ²
延床面積	501.98 m ²	880.15 m ²	1,378.39 m ²
主要な用途 (室名等)	保健室 進路指導室 会議室	校長室 事務室 職員室	体育館
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
産振実験室棟(102棟) 51-1	予防保全を図る。
産振実験実習棟(109棟) 51-2	予防保全を図る。
特別教室棟(114棟) 60-1	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(116棟) 60-2	長寿命化改修を行う。
産振棟(124棟)65	予防保全を図る。
実習室棟(127棟)68	予防保全を図る。
牛舎棟(128棟)69	予防保全を図る。
同窓会館(134棟)77	予防保全を図る。
食品加工実習室棟 (136棟)72	予防保全を図る。
果樹温室棟(140棟)76	予防保全を図る。
鶏舎(146棟)82	予防保全を図る。
理科教室棟(74棟)38- 1	予防保全を図る。
農機具実習室棟(82棟) 39	予防保全を図る。
格技場(84棟)45	予防保全を図る。
教室棟(86棟)38-2	予防保全を図る。
本館棟(87棟)41-1	長寿命化改修を行う。
管理棟(90棟)41-2	長寿命化改修を行う。
体育館(99棟)49	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(114棟、116棟)2020年度以降設計・施工
(87棟、90棟)2019年度 設計 2020年度以降 施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
産振実験室棟 (102棟)51-1	予防保全		予防保全を図る。								
産振実験実習 棟(109棟)51-2	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟 (114棟)60-1	長寿命化改修				設計・施工 2						
特別教室棟 (116棟)60-2	長寿命化改修				設計・施工 3						
産振棟(124棟) 65	予防保全		予防保全を図る。								
実習室棟(127 棟)68	予防保全		予防保全を図る。								
牛舎棟(128棟) 69	予防保全		予防保全を図る。								
同窓会館(134 棟)77	予防保全		予防保全を図る。								
食品加工実習 室棟(136棟)72	予防保全		予防保全を図る。								
果樹温室棟 (140棟)76	予防保全		予防保全を図る。								
鶏舎(146棟)82	予防保全		予防保全を図る。								
理科教室棟(74 棟)38-1	予防保全		予防保全を図る。								

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
農機具実習室棟(82棟)39	予防保全		予防保全を図る。								
格技場(84棟)45	予防保全		予防保全を図る。								
教室棟(86棟)38-2	予防保全		予防保全を図る。								
本館棟(87棟)41-1	長寿命化改修			設計	施工 3						
管理棟(90棟)41-2	長寿命化改修			設計	施工 87棟に含						
体育館(99棟)49	予防保全		予防保全を図る。								

4. 概算費用

総額 8億円(長寿命化改修)